

健康増進課長の仕事宣言！ 進行管理表

健康増進課長 坂井浩子

<p>重点事業の概要 〔事業名：食育推進計画の推進〕</p> <p>〔目標値：①BMI が 25 以上の成人の割合 男性 15%以下、女性 10%以下 ②肥満傾向児出現率 現状維持〕</p> <p>この事業は、リープロ「1 活力とにぎわいのあるまちづくりプロジェクト」に位置付けられた取組み「食育による健康づくり」を実現するために実施する事業です。自らの食について考える習慣や食に関する知識と選択する判断力を身につける取組みを実施します。また、小学校 5 年生を対象とした食育事業を行います。</p>

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関・団体と連携して、食育推進計画に基づき食育事業に取り組みました。 ・栄養相談や食に関する教室、保健指導等で、正しい食習慣等について伝えました。 ・食育推進計画の最終評価と次期プラン策定のため、アンケート調査を実施し、素案を作成しました。
	自己評価	計画に従い、関係機関・団体と連携して事業の実施ができました。プランの最終評価と次期プラン策定も、スケジュールに沿って進めることができました。
	下半期への対応	上半期の事業を継続し、小学生対象の食育事業を実施します。食育推進計画を含めた第3期うららトス21プラン（第2期食育推進計画）のパブリックコメントを行い、プランを策定します。
下半期	取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善推進員と連携し、各地区まちづくり推進センター等で、市民に生活習慣病を予防する食習慣について伝えました。 ・10月～12月に市内小学5年生799人を対象に「朝ごはんを食べて生活リズムをつくる」をテーマに、寸劇や人形等を使った講話を行い、朝ごはんや排便の大切さ、食品の組み合わせ方及び飲料水とおやつのととり方等を伝えました。 ・第3期うららトス21プラン（第2期食育推進計画）のパブリックコメントを行い、プランを策定しました。
	自己評価	関係機関・団体と連携して事業の実施ができました。また、小学全学年を対象にうらら健康マイレージクラブ子ども版を同時に実施することで、効果的な食育ができました。 次期プラン策定についても、スケジュールに沿って進めることができました。
	目標値の達成状況	①BMI が 25 以上の成人の割合 男性 26.5%、女性 17.9% (H27.12月末現在) ②肥満傾向児出現率 小学5年生 男子 3.2% 女子 2.5% 中学2年生 男子 1.9% 女子 0.8% (H27年度) ①②ともに達成できていません。
	次年度への対応	健康的な食生活の実践と健康と食育を総合的かつ計画的に進めるために、食育推進計画とうららトス21プランを一つにまとめました。今後も関係機関・団体と連携してプランを推進していきます。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

子どもから高齢者まで全ての世代で、自らの食について考える習慣や食に関する知識と選択する判断力を身につけることができるよう食育事業を推進していくこと。

下半期

次期計画である第3期うららトス21プラン（第2期食育推進計画）に沿って、関係機関・団体と連携して、「食育による健康づくり」を実現するため、食育事業を継続していくこと。

健康増進課長の仕事宣言！ 進行管理表

健康増進課長 坂井浩子

<p>重点事業の概要 〔事業名：うらら健康マイレージクラブ（こども版）〕 〔目標値：①BMIが25以上の成人の割合 男性15%以下、女性10%以下 ②肥満傾向児出現率 現状維持〕</p> <p>この事業は、リープロ「1 活力とにぎわいのあるまちづくりプロジェクト」に位置付けられた取組み「食育による健康づくり」を実現するために実施する事業です。具体的には、小学生全学年を対象としたうらら健康マイレージ（こども版）により、健康づくりの習慣化に取り組みます。</p>
--

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	関係機関・団体と連携し、うらら健康マイレージクラブ（こども版）の実施に向けた準備を行いました。
	自己評価	計画に従い事業の準備ができました。
	下半期への対応	小学校での食育事業に合わせ、小学校全学年を対象としたうらら健康マイレージクラブ（こども版）を11月～12月に実施します。
下半期	取組実績	11月～12月に、小学校全学年を対象にうらら健康マイレージクラブこども版を実施し、健康づくりの習慣化に取り組みました。 参加者は3,467人でした。（H27.12月末現在）
	自己評価	小学校と連携してスムーズに実施できました。また、小学5年生を対象とした食育とうらら健康マイレージクラブこども版を同時に実施することで、効果的な食育ができました。その他の学年についても家族を含めた健康づくりの習慣化につながりました。
	目標値の達成状況	・肥満傾向児出現率 小学5年生 男子 3.2% 女子 2.5% 中学2年生 男子 1.9% 女子 0.8%（H27年度） 達成できていません。
	次年度への対応	健康につながる食習慣等は、児童期から身につけることが大切なので、次年度も小学校と連携し、小学校全学年を対象として実施するよう努めます。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

食育との共同による健康づくりの習慣化をめざし、子どもを対象としたうらら健康マイレージクラブ（こども版）の周知と実施に取り組み、目標実現を図ること。

下半期

「うらら健康マイレージクラブ（こども版）」は、子どものときから、自分の食生活について考え、健康に関心を持ってもらう取組であり、生涯を通じての健康維持につながるものです。今後も内容の充実や方策等を検討すること。

健康増進課長の仕事宣言！ 進行管理表

健康増進課長 坂井浩子

<p>重点事業の概要 〔事業名：育児相談、家庭訪問事業〕</p> <p>〔目標値：①ゆっくり遊ぶ時間をもっている親子の割合 現状より上げる ②3歳児健康診査受診率 現状より上げる ③麻しん風しん混合ワクチンの接種率（1歳6か月児） 95.0%〕</p> <p>この事業は、リープロ「5 未来を創る人を育てるプロジェクト」に位置付けられた取組み「母子の健康管理」を実現するために実施する事業です。具体的には、妊婦や乳幼児の保護者に対して育児相談や家庭訪問を実施し、子育ての悩みや不安の解消を図ります。</p>
--

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	事業計画に基づき、育児相談、家庭訪問を実施しました。
	自己評価	計画に従い事業が実施できており、子育ての悩みや不安の解消ができました。
	下半期への対応	育児相談、家庭訪問を継続して実施していきます。
下半期	取組実績	生後4か月を迎えるまでの全戸訪問やフォローが必要な家庭への訪問、また、育児相談、栄養相談等を行いました。 家庭訪問 延3,266件 相談 延4,821件(H27.12月末現在)
	自己評価	計画に従い事業が実施できており、また、安心して育児ができるように支援・助言等を行い、育児不安解消につながりました。
	目標値の達成状況	①ゆっくり遊ぶ時間をもっている親子の割合 74.1% (H28.1月末現在) ②3歳児健康診査受診率 97.2% (H27.12月末現在) ③麻しん風しん混合ワクチン接種率（1歳6か月児）87.2% (H27.12月末現在) ②③については、平成22年度の現状値より上がりましたが、目標値には届いていません。
	次年度への対応	安心して出産育児ができ、子育ての悩みや不安を解消するために、継続して実施します。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

身近に相談する人がいないなど子育て家庭の孤立化が問題となっている中で、母子とも健康で過ごしていけるように、育児相談しやすい体制づくりや家庭訪問に取り組んでいくこと。

下半期

継続して妊婦や乳幼児の保護者に対する育児相談や家庭訪問を実施し、子育ての悩みや不安の解消を図ること。

健康増進課長の仕事宣言！ 進行管理表

健康増進課長 坂井浩子

重点事業の概要 [事業名：育児教室]

[目標値：①ゆっくり遊ぶ時間をもっている親子の割合 現状より上げる

②3歳児健康診査受診率 現状より上げる

③麻しん風しん混合ワクチンの接種率（1歳6か月児） 95.0%]

この事業は、リープロ「5 未来を創る人を育てるプロジェクト」に位置付けられた取組み「母子の健康管理」を実現するために実施する事業です。具体的には、乳幼児とその保護者に対して育児教室を実施し、安心して子育てができるよう支援します。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	事業計画に基づき、生後2か月児の教室、離乳食教室や絵本の読み聞かせ等を行いました。
	自己評価	計画に従い事業が実施できており、安心して子育てができるよう支援しました。
	下半期への対応	各種育児教室を継続して実施していきます。
下半期	取組実績	生後2か月児の教室、離乳食教室や絵本の読み聞かせ等を行いました。 ・参加者数 生後2か月児の教室 1,065人 ・離乳食教室 402人 ・絵本の読み聞かせ 491人（H27.12月末現在）
	自己評価	計画に従い事業が実施できており、育児に対する知識の普及と不安解消につながりました。
	目標値の達成状況	①ゆっくり遊ぶ時間をもっている親子の割合 74.1%（H28.1月末現在） ②3歳児健康診査受診率 97.2%（H27.12月末現在） ③麻しん風しん混合ワクチン接種率（1歳6か月児）87.2% （H27.12月末現在） ②③については、H22の現状値より上がりましたが、目標値には届いていません。
	次年度への対応	安心して出産育児ができ、子育ての悩みや不安を解消するために、継続して実施します。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

育児に関し相談する人がいないなど孤立化した家庭が多くなっている中で、母子ともに健康で安心して過ごすことができるように、育児教室などに参加しやすい体制をとりながら、継続して取り組んでいくこと。

下半期

核家族化の進展や地域の連帯意識が薄れてきている中で、身近に育児に関して相談する人がいないなどで、育児に不安を持つ家庭が多くなってきています。市民が安心して子供を生き育てることができるように、各種育児教室や育児相談を継続して実施すること。

健康増進課長の仕事宣言！ 進行管理表

健康増進課長 坂井浩子

<p>重点事業の概要 [事業名：1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査]</p> <p>〔目標値：①ゆっくり遊ぶ時間をもっている親子の割合 現状より上げる ②3歳児健康診査受診率 現状より上げる ③麻しん風しん混合ワクチンの接種率（1歳6か月児） 95.0%〕</p> <p>この事業は、リープロ「5 未来を創る人を育てるプロジェクト」に位置付けられた取組み「母子の健康管理」を実現するために実施する事業です。具体的には、1歳7か月児と3歳7か月児を対象に健康診査及びフッ素歯面塗布を実施します。</p>
--

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	事業計画に基づき、毎月、1歳6か月児・3歳児健康診査を実施しました。
	自己評価	計画に従い事業が実施できており、育児指導や発達障害児の早期発見早期療養につなげました。
	下半期への対応	各幼児健康診査を継続して実施していきます。
下半期	取組実績	健康診査を実施し、同時にフッ化物歯面塗布を行いました。 ・受診者数（率） 1歳6か月児健康診査 557人（95.9%） （H27.12月末現在） 3歳児健康診査 585人（97.2%）
	自己評価	計画に従い事業が実施できており、育児指導や発達障害児の早期発見早期療養につなげました。
	目標値の達成状況	①ゆっくり遊ぶ時間をもっている親子の割合 74.1%（H28.1月末現在） ②3歳児健康診査受診率 97.2%（H27.12月末現在） ③麻しん風しん混合ワクチン接種率（1歳6か月児）87.2% （H27.12月末現在） ②③については、H22の現状値より上がりましたが、目標値には届いていません。
	次年度への対応	安心して育児ができ、子育ての悩みや不安を解消するために、継続して実施します。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

母子とも健康で過ごしていけるように、乳幼児の健康診査を受けやすい体制をとりながら継続して取り組んでいくこと。

下半期

乳幼児の健康診査での育児指導は子育ての悩みや不安を解消に役立っています。また、発達障害児の早期発見早期療養にもつながり、早期の対応が可能となります。母子とも健康で過ごしていけるように、幼児の健康診査を受診しやすい体制をとり継続して取り組んでいくこと。

健康増進課長の仕事宣言！ 進行管理表

健康増進課長 坂井浩子

<p>重点事業の概要 〔事業名：予防接種〕</p> <p>〔目標値：①ゆっくり遊ぶ時間をもっている親子の割合 現状より上げる ②3歳児健康診査受診率 現状より上げる ③麻しん風しん混合ワクチンの接種率（1歳6か月児） 95.0%〕</p> <p>この事業は、リープロ「5 未来を創る人を育てるプロジェクト」に位置付けられた取組み「母子の健康管理」を実現するために実施する事業です。具体的には、感染の恐れがある疾病の発生やまん延を予防するために各種予防接種を行います。</p>
--

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	事業計画に基づき、各種予防接種を実施しました。
	自己評価	計画に従い事業が実施できており、「母子の健康管理」を実現するための体制が確保できました。
	下半期への対応	各種予防接種を継続して実施していきます。
下半期	取組実績	佐賀県内広域化に参加し、定期予防接種及び妊娠安心風しん予防接種事業を実施しました。県外や広域化に参加していない医療機関での定期予防接種に対する費用助成を行いました。
	自己評価	計画に従い事業が実施できており、「母子の健康管理」を実現するための体制が確保できました。
	目標値の達成状況	麻しん風しん混合ワクチン接種率（1歳6か月児） 87.2% （H27.12月末現在） H22の現状値より上がりましたが、目標値には届いていません。
	次年度への対応	感染の恐れがある疾病の発生やまん延を予防するために継続して実施します。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

母子とも健康で過ごしていけるように、予防接種事業に継続して取り組んでいくこと。

下半期

母子とも健康で過ごしていけるように、予防接種事業に継続して取り組んでいくこと。母子手帳交付時や乳幼児健康診査の際にも予防接種について十分な説明を行うことで、予防接種への理解を深め、感染の恐れがある疾病の発生やまん延の予防に努めること。

健康増進課長の仕事宣言！ 進行管理表

健康増進課長 坂井浩子

重点事業の概要 [事業名：母子保健推進員訪問事業]

[目標値：①ゆっくり遊ぶ時間をもっている親子の割合 現状より上げる

②3歳児健康診査受診率 現状より上げる

③麻しん風しん混合ワクチンの接種率(1歳6か月児) 95.0%

この事業は、リープロ「5 未来を創る人を育てるプロジェクト」に位置付けられた取組み「母子の健康管理」を実現するために実施する事業です。具体的には、母子保健推進員が家庭訪問し、各種教室の案内や健診の受診勧奨を行います。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	事業計画に基づき、母子保健推進員が生後3か月、10か月、1歳4か月児等の家庭訪問を行いました。
	自己評価	計画に従い事業が実施できており、妊婦や乳幼児をもつ保護者が安心して育児ができるよう支援しました。
	下半期への対応	母子保健推進員の家庭訪問を継続して実施していきます。
下半期	取組実績	母子保健推進員が家庭訪問し、各種教室の案内や健康診査の受診勧奨を行いました。また教室や健診時に保護者や幼児がスムーズに受けられるよう託児を行いました。 訪問件数 延3,266件 相談 延4,821件 (H27.12月末現在)
	自己評価	計画に従い事業が実施できており、妊婦や乳幼児をもつ保護者が安心して育児ができるよう支援することができました。
	目標値の達成状況	①ゆっくり遊ぶ時間をもっている親子の割合 74.1% (H28.1月末現在) ②3歳児健康診査受診率 97.2% (H27.12月末現在) ③麻しん風しん混合ワクチン接種率(1歳6か月児) 87.2% (H27.12月末現在) ②③については、H22の現状値より上がりましたが、目標値には届いていません。
	次年度への対応	安心して出産育児ができ、子育ての悩みや不安を解消するために、継続して実施します。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

身近に相談する人がいないなど孤立化した家庭が多くなっている中で、母子保健推進員が家庭を訪問し育児相談等を実施することは、育児の不安解消につながっています。母子ともに健康で安心して過ごしていけるように、継続して取り組んでいくこと。

下半期

保護者が安心して出産育児ができるように、母子保健推進員の家庭訪問による育児相談、受診勧奨などを継続して実施すること。

健康増進課長の仕事宣言！ 進行管理表

健康増進課長 坂井浩子

重点事業の概要 [事業名：妊婦歯科健康診査]

[目標値：①ゆっくり遊ぶ時間をもっている親子の割合 現状より上げる

②3歳児健康診査受診率 現状より上げる

③麻しん風しん混合ワクチンの接種率(1歳6か月児) 95.0%

この事業は、リープロ「5 未来を創る人を育てるプロジェクト」に位置付けられた取組み「母子の健康管理」を実現するために実施する事業です。具体的には、妊婦の歯科健康診査を行い、その結果に基づき適切な保健指導を行います。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	事業計画に基づき、妊婦の無料の歯科健康診査を医院で個別に実施しました。
	自己評価	計画に従い事業が実施できており、女性の生涯を通じた歯の健康及び赤ちゃんの健やかな成長につなげました。
	下半期への対応	妊婦歯科健康診査を継続して実施していきます。
下半期	取組実績	三養基・鳥栖地区歯科医師会の医院で、妊婦の無料の歯科健康診査を実施し、その結果に基づき適切な保健指導を行いました。 受診者数(率) 170人(30.9%) (H27.12月末現在)
	自己評価	計画に従い事業が実施できており、女性の生涯を通じた歯の健康及び赤ちゃんの健やかな成長につなげました。
	目標値の達成状況	当初は妊婦歯科健康診査受診者数を200人で見込んでおり、H27年12月現在で170人です。今後も受診勧奨に努めます。
	次年度への対応	女性の生涯を通じた歯の健康及び赤ちゃんの健やかな成長のために、継続して実施します。

所管部長(リープロ担当部長)の指示

上半期

女性の生涯を通じた歯の健康は、健康維持、健康寿命の延伸に効果的と思われます。適切な保健指導に努めること。

下半期

歯が健康な人は、高齢となっても生活の質および活動能力が高く、運動・視聴覚機能に優れているといわれています。元気な赤ちゃんを産むためには、まず母親が心身共に健康であることが第一です。女性の生涯を通じた歯の健康、及び赤ちゃんの健やかな成長のため、妊婦の歯科健診を継続して行うこと。

健康増進課長の仕事宣言！ 進行管理表

健康増進課長 坂井浩子

重点事業の概要 [事業名：不妊治療費助成]

この事業は、リープロ「5 未来を創る人を育てるプロジェクト」に位置付けられた取組み「母子の健康管理」を実現するために実施する事業です。具体的には、不妊治療費の一部を負担し、子育てしやすい環境をつくります。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	事業計画に基づき、不妊治療費の一部助成（年度内に1回、上限10万円）を行いました。
	自己評価	計画に従い事業が実施できており、子育てしやすい環境をつくりました。
	下半期への対応	不妊治療費助成を継続して実施していきます。
下半期	取組実績	不妊治療費の一部助成（年度内に1回、上限10万円）を行いました。 助成件数 33件（H27.12月末現在）
	自己評価	計画に従い事業が実施できており、子育てしやすい環境をつくりました。
	目標値の達成状況	当初は治療費助成件数を60件で見込んでおり、H27年12月現在で33件です。今後も助成事業の周知等に努めます。
	次年度への対応	安心して出産ができ、子育てしやすい環境をつくるために、継続して実施します。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

不妊治療は高額であり、経済的負担が重いため、子供を望みながらも十分な治療を受けることができない人も少なくないと思われまます。治療費の一部負担により、子育てしやすい環境づくりに努めること。

下半期

不妊治療は高額であり、経済的負担が重いため、子供を望みながらも十分な治療を受けることができない人も少なくないと思われまます。治療費の一部負担により、継続して子育てしやすい環境づくりに努めること。

健康増進課長の仕事宣言！ 進行管理表

健康増進課長 坂井浩子

<p>重点事業の概要 [事業名：救急医療体制の充実]</p> <p>[目標値：休日や夜間に受診できる医療機関を知っている親の割合（1歳6か月児） 100%]</p> <p>この事業は、リープロ「5 未来を創る人を育てるプロジェクト」に位置付けられた取組み「救急医療体制の充実」を実現するために実施する事業です。具体的には、鳥栖市休日救急医療センターを運営し、久留米広域小児救急医療センター事業に参加します。</p>
--

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	鳥栖市休日救急医療センターを運営し、久留米広域小児救急医療センター事業に参加しました。
	自己評価	休日の救急医療体制及び年間を通じた夜間の小児救急医療の体制が確保できました。
	下半期への対応	継続して休日救急医療センターを運営し、久留米広域小児救急医療センター事業に参加します。
下半期	取組実績	鳥栖市休日救急医療センターを運営し、久留米広域小児救急医療センター事業に参加しました。鳥栖市休日救急医療センターについては、小児科の患者が半数以上を占めることから、第2、第4日曜日を小児科専門医と内科医の診察日としました。 受診者数 1,913人（H27.12月末現在） 内科 739人（38.6%） 小児科 1,003人（52.4%） 外科 171人（8.9%）
	自己評価	市民が安心して暮らすことができる休日の救急医療体制及び年間を通じた夜間の小児救急医療の体制が確保できました。
	目標値の達成状況	休日や夜間に受診できる医療機関を知っている親の割合（1歳6か月児）は、90.2%で、平成22年の現状値より上がりましたが、目標値には届いていません。
	次年度への対応	継続して休日救急医療センターを運営し、久留米広域小児救急医療センター事業に参加します。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

安心して医療を受けられる体制は、市民生活に必要なものです。安心して子育てし、自分の健康、家族の健康を管理できる環境づくりのために、継続してセンターの運営を行うこと。乳幼児の救急時に対応できるよう、関係機関と連携しながら救急体制を確保すること。

下半期

鳥栖市休日救急医療センターの運営及び久留米広域小児救急医療センター事業への参加により、休日の救急医療体制及び年間を通じた夜間の小児救急医療の体制を確保すること。

健康増進課長の仕事宣言！ 進行管理表

健康増進課長 坂井浩子

重点事業の概要 [事業名：うららトス21プランの推進]

[目標値：健康マイレージ事業の参加者 7,000人]

この事業は、リープロ「5 市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた取組み「地域における健康づくり」を実現するために実施する事業です。具体的には、「笑顔で元気あふれる明るい鳥栖市」を目指して、各種事業を実施し、地域のリーダーを育てます。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	プランに基づき各種健康施策を関係機関・団体と連携して推進しました。また、地域のリーダー育成のため、うらら推進員等の養成講座を開始しました。第2期プランの最終評価と第3期プラン策定のため、アンケート調査を実施し、素案を作成しました。
	自己評価	関係機関・団体と連携し、地域での健康づくりができました。プランの最終評価と食育推進計画を包含した次期プラン策定についても、スケジュールに沿って進めることができました。
	下半期への対応	うららトス21プランを継続して推進します。第3期うららトス21プラン(第2期食育推進計画)のパブリックコメントを行い、プランを策定します。
下半期	取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・プランに基づき各種健康施策を関係機関・団体と連携して推進しました。健康づくり週間では保健センターでイベントを行い、プランの普及に努めました。また、まちの公民館や老人クラブ、子育て支援センターへ出向き、プランの普及啓発を行いました。 ・地域のリーダー育成のため、うらら推進員等の養成講座を行いました。 ・第3期うららトス21プラン(第2期食育推進計画)のパブリックコメントを行い、プランを策定しました。
	自己評価	関係機関・団体と連携し、地域での健康づくりができました。プランの最終評価と食育推進計画を包含した次期プラン策定についても、スケジュールに沿って進めることができました。
	目標値の達成状況	健康マイレージ事業の参加者数 5,567人(H27.12月末現在)で、まだ目標には達していません。 成人 2,100人 こども 3,467人
	次年度への対応	今後も関係機関・団体と連携してプランを推進します。

所管部長(リープロ担当部長)の指示

上半期

うららトス21プラン及び追補版に基づき、各種健康施策を関係機関・団体と連携して推進すること。第3期うららトス21プランの策定を進めること。

下半期

今後は、次期計画である第3期うららトス21プラン(第2期食育推進計画)に沿って、各種健康施策の実施に努めること。

健康増進課長の仕事宣言！ 進行管理表

健康増進課長 坂井浩子

<p>重点事業の概要 〔事業名：健康教室〕</p> <p>〔目標値：健康マイレージ事業の参加者 7,000人〕</p> <p>この事業は、リープロ「5 市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた取組み「地域における健康づくり」を実現するために実施する事業です。具体的には、地域での介護予防の出前講座の実施や健康運動士の派遣、また、運動の自主組織活動を支援します。</p>

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	地域での出前講座(介護予防)の実施や運動の自主組織活動を支援しました。
	自己評価	計画に従い事業が実施できており、生活習慣病とともに要介護の要因となるロコモティブシンドロームの予防、地域での健康づくりにつながりました。
	下半期への対応	地域での介護予防の出前講座や運動の自主組織活動を継続して行います。
下半期	取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域等の介護予防のための講座や教室への健康運動指導士等の派遣、運動の自主組織活動を支援しました。 ・各町の公民館等で健康講話や体操、歌等のけんこう出前講座を行いました。 回数、参加者数 21回、739人 (H27. 12月末現在) ・医師を講師に招き、健康に関する様々な分野の講話を行いました。 回数、参加者数 4回、195人 (H27. 12月末現在) ・男性を対象に生活習慣病予防のための食事、調理の基本をお米のとき方から学ぶ講座を開催しました。 回数、参加者数 5回、延132人 (H27. 12月末現在)
	自己評価	生活習慣病とともに要介護の要因となるロコモティブシンドロームの予防、地域での健康づくりにつながりました。
	目標値の達成状況	健康マイレージ事業の参加者数 5,567人 (H27. 12月末現在) で、まだ目標には達していません。 成人 2,100人 こども 3,467人
	次年度への対応	運動支援事業を含めた介護予防事業の教室等について関係各課による介護予防部会で協議し、効果的な取り組みを実施します。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

要介護の主な原因となっている生活習慣病などの予防のため、各種教室を開催し、介護予防に努めることは、医療費の節減にもつながります。関係各課と連携しながら事業を行うこと。

下半期

地域における健康出前講座や健康教室、運動の自主活動支援は、健康づくりに対する意識高揚につながり、ひいては介護の要因となる生活習慣病やロコモティブシンドロームの予防につながります。関係各課と協議、連携し、継続して実施していくこと。

健康増進課長の仕事宣言！ 進行管理表

健康増進課長 坂井浩子

重点事業の概要〔事業名：予防接種（高齢者向け）〕

この事業は、リープロ「5 市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた取組み「地域における健康づくり」を実現するために実施する事業です。具体的には、高齢者（65歳以上）を対象にインフルエンザ及び肺炎球菌ワクチン予防接種を実施します。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	事業計画に基づき、肺炎球菌ワクチン予防接種を実施しました。インフルエンザについては、10月からの実施に向けて関係機関との調整等の準備を行いました。
	自己評価	計画に従い事業が実施できており、肺炎球菌の感染予防の体制が確保できました。
	下半期への対応	肺炎球菌ワクチン予防接種を継続して実施します。インフルエンザについては、10月から開始します。
下半期	取組実績	佐賀県内広域化に参加しインフルエンザ及び肺炎球菌ワクチン予防接種を実施しました。また、県外や広域化に参加していない医療機関での定期予防接種に対する費用助成も行いました。 インフルエンザ予防接種 被接種者数 7,495人(H27.11月末現在) 肺炎球菌予防接種 被接種者数 386人(H27.11月末現在)
	自己評価	計画に従い事業が実施できており、インフルエンザ及び肺炎球菌の感染予防の体制が確保できました。
	目標値の達成状況	当初はインフルエンザ予防接種費接種者数を9,000人、肺炎球菌予防接種費接種者数を800人で見込んでおり、今後も受診勧奨に努めます。
	次年度への対応	高齢者のインフルエンザ及び肺炎の発生やまん延を予防するために継続して実施します。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

65歳以上の高齢者の肺炎予防のために、肺炎球菌ワクチン予防接種を継続して行うこと。

下半期

高齢者のインフルエンザ及び肺炎球菌ワクチンの予防接種は、感染や蔓延の予防に役立っています。高齢者にとって肺炎は特に命にかかわる疾病です。予防接種の周知に努めること。

健康増進課長の仕事宣言！ 進行管理表

健康増進課長 坂井浩子

重点事業の概要 [事業名：うらら健康マイレージクラブ]

[目標値：健康マイレージ事業の参加者 7,000人]

この事業は、リープロ「5 市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた取組み「地域における健康づくり」を実現するために実施する事業です。具体的には、うらら健康マイレージクラブの周知に努め、今年度より一年を通して参加できる体制とします。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	7月から11月までの実施期間を通年での実施に制度変更を行うとともに、うらら健康マイレージクラブの周知に努め、開始の準備、実施を行いました。参加者数（おとな版）2,008人。また、こども版の実施に向けて、準備を行いました。
	自己評価	少しずつ事業が周知され、昨年度よりも参加者が増加しました。
	下半期への対応	大人版については、継続して実施します。こども版については、11月～12月に食育事業と併せて実施します。
下半期	取組実績	関係機関・団体への説明やホームページ・市報への掲載、教室や健診時の勧奨などうらら健康マイレージクラブの周知に努め、通年での健康づくりとして実施しました。また、ポイントの繰り越し制度を導入しました。 参加者数 成人2,100人 こども 3,467人
	自己評価	関係機関・団体と連携して事業の実施ができました。また、うらら健康マイレージクラブこども版を食育事業と同時に実施することで、効果的な健康づくりができました。
	目標値の達成状況	健康マイレージ事業の参加者数 5,567人（H27.12月末現在）で、まだ目標には達していません。 成人 2,100人 こども 3,467人
	次年度への対応	病気の予防と健康の保持増進のために、「自分にできることから少しずつ始めよう」という市民の主体的な取り組みを支援するために有効な事業であるため、今後も継続して実施します。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

うらら健康マイレージクラブ制度がより参加しやすい制度となるよう検討すること。制度の周知と実施に取り組み、目標実現を目指すこと。

下半期

うらら健康マイレージクラブ制度は、通年での取り組みへの変更、ポイントの繰り越しなどの制度変更により、より参加しやすいものとなりました。今後も、制度の周知と実施に取り組み、目標達成に向けて参加者を増やすための取組を行うこと。

健康増進課長の仕事宣言！ 進行管理表

健康増進課長 坂井浩子

<p>重点事業の概要 〔事業名：健康診査、各種がん検診〕</p> <p>〔目標値：①ハイリスクの方への保健指導実施率 80.0% ②循環器疾患で200万円以上の高額な医療費を使った人数 16人以下 ③人工透析導入者の新規人数 現状値より下げる〕</p> <p>この事業は、リープロ「5 市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた取組み「生活習慣病予防」を実現するために実施する事業です。具体的には、健康診査や各種がん検診を実施し、結果がハイリスクな方へ保健指導を行います。</p>
--

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	健康診査の結果、ハイリスクな方に対して、重症化予防のための保健指導を行いました。また、がん検診の受診率向上のため、周知及び複数のがん検診を同時に受診できる機会の拡大に努めました。
	自己評価	計画に従い事業が実施できており、生活習慣病等の予防につながりました。
	下半期への対応	事業計画に基づき、健康診査、各種がん検診等を継続して行います。
下半期	取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診査の結果、ハイリスクな方に対して、家庭訪問等による重症化予防のための保健指導を行いました。 ・複数のがん検診を同日に受診できる日や土日の検診日を設定し、受診しやすい環境づくりに努めました。また、歯科医師会、薬剤師会、商工会議所及び市内事業所の協力により、がん検診のポスターやチラシの掲示等を行い、市民への周知を行いました。 ・子宮がん検診、乳がん検診は医療機関での個別検診を実施し、受診率向上を図りました。
	自己評価	個別の保健指導により、生活習慣病等の予防・重症化に努めました。また、受診しやすい環境づくり等によりがん検診の受診者が増加し、がんの早期発見早期治療につながりました。
	目標値の達成状況	①ハイリスクの方への保健指導実施率 64.2% (H28.1月末現在) ②循環器疾患で200万円以上の医療費を使った人数 27人 (H26年度) ③人工透析導入者の新規人数 (鳥栖市国民健康保険被保険者数) 6人 (H27.12月末現在) 目標値は達成できていません。
	次年度への対応	生活習慣病の発症及び重症化予防、がん検診の受診率向上により、健康寿命につながるので、健康診査、各種がん検診等を継続して行います。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

特定健診、がん検診の受診率アップのため継続して事業に取り組むこと。がんの早期発見のためには、検診を受けることが大切です。受診機会の拡大、周知に努めること。

下半期

健診で判明したハイリスクの方への重症化予防のための保健指導に努め、健康寿命の延伸を図ること。また、複数のがん検診を同日に受診できる日の設定などのがん検診メニューの多様化や受診勧奨・再勧奨など、がん検診の受診率拡大に向けた取り組みをさらに充実させること。

健康増進課長の仕事宣言！ 進行管理表

健康増進課長 坂井浩子

<p>重点事業の概要 〔事業名：健康増進事業（肝炎ウイルス検診）〕</p> <p>〔目標値：①ハイリスクの方への保健指導実施率 80.0% ②循環器疾患で200万円以上の高額な医療費を使った人数 16人以下 ③人工透析導入者の新規人数 現状値より下げる〕</p> <p>この事業は、リープロ「5 市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた取組み「生活習慣病予防」を実現するために実施する事業です。具体的には、市が行う健康診査と同時に肝炎ウイルス検診を実施します。</p>

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	健康診査と同時に肝炎ウイルス検診を実施した。また、未受診者や陽性者のフォローを行いました。
	自己評価	計画に従い事業が実施できています。
	下半期への対応	事業計画に基づき、肝炎ウイルス検診を継続して行います。
下半期	取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診査と同時に肝炎ウイルス検診を実施しました。 受診者数 556人 (H27.12月末現在) ・鳥栖三養基市民公開講座を開催し、肝臓がんについて正しい知識の普及啓発を図りました。 ・未受診者の受診勧奨や陽性者へフォローを行いました。
	自己評価	計画に従い事業が実施できています。
	目標値の達成状況	①ハイリスクの方への保健指導実施率 64.2% (H28.1月末現在) ②循環器疾患で200万円以上の医療費を使った人数 27人 (H26年度) ③人工透析導入者の新規人数 (鳥栖市国民健康保険被保険者数) 6人 (H27.12月末現在) 目標値は達成できていません。
	次年度への対応	肝臓がんについての正しい知識の普及啓発、肝臓がんの予防及び早期発見早期治療のために、肝炎ウイルス検診を継続して行います。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

佐賀県は肝がんでの死亡率ワースト記録を続けています。肝がんの原因の大半は肝炎ウイルスよると言われています。肝がん対策のために、肝炎ウイルス検診を受けることが大切です。受診機会の拡大、周知に努めること。

下半期

肝炎ウイルス検査の受診勧奨など肝がん対策の普及啓発に努めること。